

岡山県喫茶飲食組合における組織基盤強化、 組合活動活性化の取組みについて

〈お話しすること〉

- 1 組合員数の推移
- 2 LINEの活用による情報共有とコミュニケーション
- 3 特相員による頻回な巡回指導
- 4 イベント出店時の声掛けなどの取組み
- 5 自主勉強会のオンライン配信

令和7年2月20日

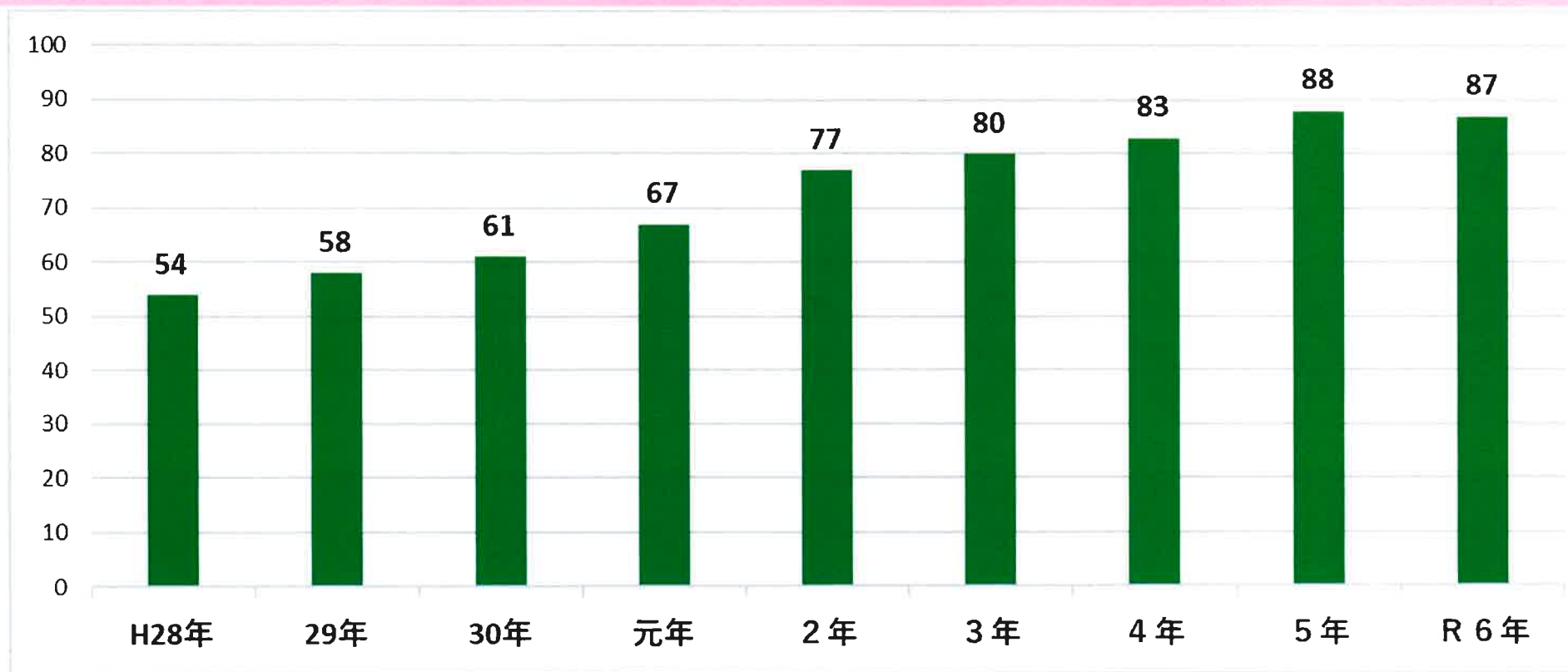
(公財)岡山県生活衛生営業指導センター

事務局次長 塩飽 聡

1 組合員数の推移(毎年12月末時点)

平成29年から7年連続で増加

令和5年は平成28年の1.6倍



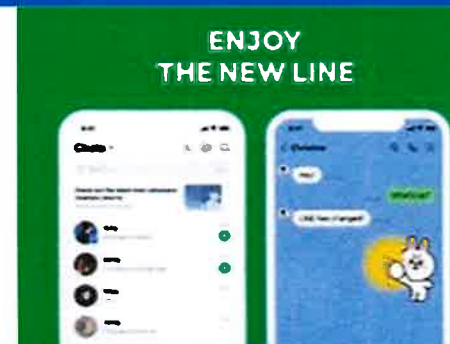
人口減少社会の真っ只中で少子化・高齢化が進んでいても
組合員数増加は可能！ 岡山県喫茶飲食組合のヒミツを公開

2 LINEの活用による迅速な情報共有とコミュニケーションの活性化

- 「組合員」「理事」「事業担当者」「特別相談員」「食品衛生指導員」「イベント出店」「自主勉強会」等の各グループを構築し、組合員同士の円滑なコミュニケーションを実現
- 「組合員」グループ(現在81名)では、ほぼ毎日更新
- 情報提供に加え、組合員の悩みや課題等について自然なコミュニケーションが取れるような投稿スタイルに配慮(一方的コミュニケーション解消のため事務局の情報提供に対し理事が意見を投稿、組合員の投稿に対し理事や事務局が即座に反応するなど会話形式となるよう)
- さらに、新規加入組合員の自己紹介や県内イベント情報の告知等も実施

3 特相員による頻回な巡回指導

- ・高齡のためLINEグループから外れている組合員に対し面談等により課題や要望等を傾聴 ⇒ R5年度は自己都合による脱退無



4 イベント出店時の声掛けなどの取組

※ 副理事長をはじめとした組合員等の優れた行動力

- ・副理事長はR5年度に「新規加入店舗10店以上」を自己の活動目標に掲げ取組を促進

⇒新規加入者の9割が自らの声掛けなどによるもの

- ・イベント出店(京橋朝市、マルシェ等)時に出会った喫茶飲食店経営者に各組合員が組合の存在や活動等を紹介

4 イベント出店時の声掛けなどの取組

備前京橋朝市(平成元年～岡山市政百周年記念行事)

- ・第一日曜日のお祭りの出から午前10時頃まで開催
- ・喫茶飲食組合のR6年度出店内容
 - ① コーヒーの種類、原産国についての最新情報を消費者に語りかけながら、ドリップバッグをプレゼント
 - ② 組合員が開発した地域産食材使用のフルーツ大福の試食及び岡山城をイメージしたドリップコーヒーの試食・試飲
 - ③ 新規開業組合員の接客技術及びイベント出店の実習
- ・来場者:延べ2～3万人

4 イベント出店時の声掛けなどの取組

備前京橋朝市(平成元年～岡山市政百周年記念行事)



4 イベント出店時の声掛けなどの取組

- ・新規出店希望者等に対する事務局の懇切丁寧な説明
 - ⇒セミナー、ワークショップ等の自主勉強会(デジタル化、生衛貸付、事業承継、カスハラ対策等、年5回程度開催)への参加誘導
 - ⇒専門家派遣による相談事業の活用により課題や悩みの解決を支援

5 自主勉強会のオンライン配信

- ・R6年度からLINEメンバーへ勉強会のオンライン同時配信を実施
- ・ITに精通した組合員がQRコード作成やオンライン配信作業を担当
- ・遠方の組合員で会場参加が困難でもオンライン参加が可能に

6 まとめ

- LINEを読むだけの人も多く、グループLINEではなく個人あてのLINEで事務局から通知し意見を伺うなどしており、事務局業務が煩雑に
 - 他方、LINEグループ構築により、これまで組合活動に興味を示さなかった組合員から「LINEで組合の活動内容が分かり嬉しい、様々なことに多くの組合員が参加協力していることを知り、自分も参加してみたい」との声も
 - 組合活動のコアメンバーが40代の組合員を中心に構成されており、今後に期待
- ※ LINEの活用、特相員の頻回な巡回指導による迅速な情報共有と円滑なコミュニケーションを重視、自主勉強会の実施やイベント等での一期一会を重んじる地道な活動で成果